

はたらき人

沖縄信徒聖書学校
沖縄聖書神学校

沖縄県那覇市久米町
2の11 (〒900)
事務局
聖書学校 ☎09883-7-8988
神学校 ☎0988-76-0467

一粒のからし種は……地上のどんな種よりも小さいがまかれると、成長してどんな野菜よりも大きくなり、大きな枝を張り、その陰に空の鳥が宿るほどになる。

（マルコ四章31-32節）

このみことばは、教会の成長、発展をのべたものである。一粒のからし種とは何のことでしょう。主イエスは、弟子たちがてんかんの病気の子をいやすことができなかつた時、「あなたがたの信仰が足りないからである。もし、からし種一粒ほどの信仰があるならこの山にむかって、「ここからあそこに移れ」と言えば、移るであろう」と言われた。

教会は信仰によって建てられ、成長し、実を結ぶのである。そしてその信仰は山を移すのである。信仰とは、イエス・キリストに対する信仰である。すなわち、主の十字架と復活を信ずる信仰である。この信仰こそが、教会の生命である。



沖繩聖書神学校々長
渡真利 文三

「その陰に空の鳥が宿る」と。空の鳥とは、異邦人、すなわち、まことの神を信じない人たちのことである。教会はキリスト者だけの集りではなく、信徒でない人たちも、魂のよりどころを求めて教会を慕いよってくる。

これまでは世の勢力は、軍備や経済、文化や学芸等の程度によってはかられたが、しかし終末には神のみことばの優越性が認められると預言されている（イザヤ二章2-3節）。なおイザヤ二章4節には、「彼らはそのつるぎを打ちかえて、すきとし、そのやりを打ちかえて、かまとし、国は国にむかって……もはや戦いのことを学ばない」と。このみことばは理想のイスラエルを預言したものである。そして、イザヤ五三章に記されているように、救い主についての預言があり、それがイエス・キリストにおいて成就したのである。

キリストは十字架の死をおして、人類の罪をあがない、人を神と和解させて下さった。人は十字架のキリストを信じる信仰によって罪をゆるされ救われるのである。そして、キリストと共に、新しい命に生かされるのである。

最後に、私たちは一粒のからし種の教えをおして、教会の輝かしい将来を約束されている。それ故に教会の成長は、キリストの十字架なしに考えられない。一粒のからし種が成長して、大きく枝を張り、その陰に鳥が宿るとある。枝を張るとは、キリスト者一人一人が、キリストと共に十字架につけられて死ぬることによって、新しい命に生かされる。それが枝を張るといふことである。そしてその新しい命とは、キリストの十字架の愛である。自らが犠牲に、そして死んで他を生かすことである。教会の成長は、単なる目に見える発展、繁栄ではなく、愛の枝の成長である。教会が大きく愛の枝を張る時、空の鳥が宿るのである。教会は主の十字架と復活を宣傳するだけでなく、その苦難と復活の秘義に生きる群れでありたい。その時空の鳥は慕いよってくる。

ったのは、やはり、前評判の「讃美の教会」という事でした。低学年の人たちから、大人に至るまで実によく訓練されていました。又分級の進め方も、各自が自主的に学びをすすめて、私たち神学生が室に入ってきたても、何も憶することなく、自由な雰囲気です。また、台湾の方々には実に歌がうまき、巷でも、日本の歌謡曲や童謡等がバスの中まで流れ、過去、五十年に亘って、植民地政策や公民化運動で御苦労なされたにも拘らず、日本の歌を口づさんでいるのを見て、今日、海外に於て悪名の高い我が国に寄せる台湾の人たちの心の広さを思わせました。

私たちの訪ねた教会の牧師先生方は皆、日本教育を受けておられとても日本語が上手で、滞在中、言葉の面で何不自由なく過ごすことができました。そのせいなのか先生方の中には、実に日本人臭い人もいました。しかし、先生方と接していると、今日、日本人にななわつつある何物かを感じる事ができました。現在の台湾の教会情勢はかなり厳しいらしく、メッセージや私的な面でも政局との戦いである事を話しておられました。しかし、熱血漢の先生が多く、殉教も辞さないという態度に、教会

者の姿勢というものを教えられました。他方、牧師が留学と銘うって海外に逃がれる人も多いと聴きました。これも人の弱さだと思われ、「牧師が逃げて誰が教会を守るのだ!」、と声を張りあげて、いたある先生の声は、衝撃的で当分の脳裡から離れそうもありました。今回の研修は大きな教会だけをおいた嫌いもありましたが、最後に、台湾の教会を訪ねて感じた事は、福音ってホントに地味だな……と思った事です。

ある意味でホッとしている次第です。

沖繩聖書神学校学生募集

- 1 受験資格
大学卒または同等の学力を有するもの。
 - 2 入学願書受付 三月十三日
試験日三月十九日(月)
3 申し込み
- 浦添市港川五四三
眞壁朝貞
電 七六一〇四六七

聖書学校神学校経過報告

- 四月四日 聖書学校入学式
(入学生一〇名)
 - 六月一三日 第一〇回定期総会
 - 六月二八日 特別講演会
講師 杉田亀久夫氏
 - 七月三日 聖書学校・神学校日
神学生台湾夏期実習
 - 七月五日 特別講演会
講師 前原利夫氏
 - 七月二二日 聖書学校十周年記念
講演会
 - 十月二三日 特別講演会
講師 卓明煥師
楊錫文牧師
- 演題「キリスト教異端を軌る一統一協会について」
- 折田政博(天久神の教会)
当銘由正(那覇聖書教会)
首藤清次(那覇ナザレン教会)
松田善弘(宜野湾ナザレン教会)

編集後記

今年北部・中部・南部でのクルセード、映画伝道、講演会等で伝道活動に忙がしい年でした。

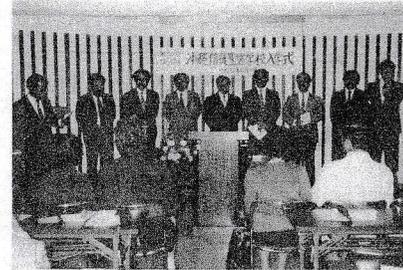
聖書学校も十周年記念行事で幾つかの講演会等行いました。これからも、主と教会に仕え沖繩の伝道を進めたいと祈っています。

- 喜友名朝英(名護聖書教会)
- 安里嗣昌(真嘉比バプテスト)
- 連天康正(基督恩窮教会)
- 眞壁朝貞(牧港中央バプテスト)
- 新垣栄市(希望が丘教会)
- 聖書学校・神学校の次期校長
国吉 守(聖書学校)
- 渡真利文三(神学校)
- 聖書学校・神学校行事日程
十一月二一日 臨時総会
十二月四日 クリスマス感謝会
一月 六日 聖書学校三学期講義開始
三月十二日 聖書学校入学試験
三月二五日 聖書学校第九回卒業式

聖書学校に学んで

島袋和美

ついでこの間、入学式をむかえたようなのに時のたつのは早いもので二期の学びも終えようとしています。
屋間は保育園保母として働かせていただき毎週火・金の晩七時半から九時半までの二時間を聖書学校で学び続けているのですが、本当に受けている講義の内容はどれも深く、教授の牧師先生方もそれぞれに異なった素晴らしい賜物を用いて力強く生徒にせまってお下り大変に恵まれた時間を過ごしてい



83年度 聖書学校入学生

ます。又教派を超えてあちこちの教会から愛する兄弟姉妹が集まっており交わりも楽しくて沢山のことを教えてもらっています。
思えばこの私がこの学校への入学志望を決心したのは願書が切りざりざりの朝のことでした。教会の姉妹から学校の良さを知られ、ぜひ祈って入学するように勧められていたのですが、「信仰生活が一年足らずで乳児同然の私には時期的に早すぎるのではないか。ついていけるかしら」という不安と「聖書も読まないふじめな自分、ふさわしくないのではないか」と考え躊躇していました。その他にも現実的な問題として、仕事との両立、通学の交通の便、リンクリスチャンの両親にどう理解してもらおうか、などいろいろと思わずにいました。
しかし小さな私をはるかにこえて見守って下さるキリストを信じ、「主よ、全てをあなたにゆだねます。どうぞあなたの望む道を教えてください。導いて下さい」と私なりに祈りました。そしてピリピ4章19節の「また私の神はキリストイエスにあるご自身の栄光の富をもって、あなたがたの必要をすべて満たしてくださいませ」という



聖書学校授業風景

御言葉が与えられ、それまで頭の中に充満していた思いわずらいを断ちきることができ入学を志願したのでした。
今こうしてペンを走らせながら入学を来年に延ばすことなく、行きなさいと押し出して下さった神様に深く感謝しております。
聖書学校での学びは、聖書をよく深く正しく知るための手助けをしていると思えます。聖書を知るとは、すなわちキリストを知ることです。イエス様が私達に何を期待しておられるかを知ることができると思うのです。
「あなたのみことばは、私の足のともしび、

- 一九八三年度
 沖繩信徒聖書学校学生募集
- △募集人員 二〇人
 - △入学資格 新生の明確な自覚をもち、受洗後一年以上忠実な教会生活を送っている者。
 - △修養年限 二年(毎週火曜日、金曜日午後七時三〇分～九時)
 - △願書べ切 二月末日
 - △入学試験 三月十二日(月)午後七時
 - △科目 聖書・一般常識・小論文及び面接
 - △申し込み 沖縄市宮里二七 七 新垣栄市 電七二八八八
- 将来信徒伝道者として、キリストと教会に仕えたいと願う者は、ぜひ本校に入学してください。

私の道の光です。(詩篇119の105)
 救うに値しない罪人の私のために身替わりとなりて十字架にかかって下さったキリストに仕える為に、これからも多くの事柄をこの聖書学校で学んでいきたいと思えます。(希望が丘教会)

財務報告書

松田善弘

そこでわたしは、あなたがたの魂のためには、大いに喜んで費用を使い、また、わたし自身をも使いつくそう。コリント後十二・一五
一人の人の魂を救うためには、多くの祈りと犠牲が捧げられて完成されるのです。祈りも痛みも感じない信仰は長続きしない。
沖繩信徒聖書学校は創立十周年を迎えました。多くの方々との祈りとささげものの御協力によって支えられて、今日に至りました。
無から有を産み出される神を信じて来ましたが、これからもそうさせていきたいと思います。
一九八三年度は財政的には祝されております。計上しました予算も満たされることと確信しております。新年度はさらに予算増額しすばらしいプログラムを推進していただくために、各教会、信徒の皆様方の絶大な御協力を賜わりたくお願い申し上げます。
神の豊かな御祝福が皆様方の上にあります様お祈りします。

一九八三年十一月

台湾実習「あかし」

坂 実 雄

六月二十八日から七月十五日迄台湾長老教会を視察する幸いを得ました。運天師の手配により無事予定の日程を消化することができました。更に当初心配されておりました費用も十分に満たされ、桃源神学生と共に皆様の御理解と御配慮を感謝するものです。主への感謝から自由な思いによつて沖繩神学校を支え続けておられる諸教会、教派を超えて兄弟姉妹の方々に主の祝福がありますよう、感謝を込め第二コリント九章十三・十五節を御送ります。献身の用意のある我々が、ふさわしい訓練がなされますよう引き続きお祈り下



台湾実習

さい。
さて台湾に於て目を見張らせるのは信徒の活動です。分級の先生方は牧師に伴われた我々が見学してきました。照れることなくテキパキとお話しています。時々笑い声が起こるのも実にはほほえましい限りです。若い先生の故、教理にうといものがあるかも知れませんが、実に堂々とリズムダンス、絵画、お話しと続き子供達を飽きさせません。他の教会では毎晩七時から十時迄子供伝道大会がもたれていました。五日間連続のですが、此処でも同様信徒の活躍はめざましく、御婦人方は当番でオヤツをつくっておられます。教師も三時間を、子供達を飽きさせず和気合々と過ごしています。牧師や牧師夫人はタッチせず、信徒のみで企画、運営されています。

我々から観ると牧師は暇そうです。しかしそれは信徒の配慮によるものです。教師ではなく、信徒によって築き上げられた台湾の教会では、教会の管理、運営は信徒の役目であり、牧師の役目は説教と、その働きは明確に分担されているようです。神の言葉の説き明しの為に牧師は配慮され、又、教会は良い説教を求めて牧師を招聘しています。更に説教者の育成にも力を入れ、設備の整った四つ沖繩神学校を持ち、学生達は正しい信仰に基づいた説教者になるべく配慮されています。
教会を整え、信仰の正しい継承に努める信徒の、牧師に劣らない大きな働きはエペソ四の一・十四節を思い起こさせます。ハレルヤ

台湾の教会を訪ねて

桃源俊政

主の守りと導きのうちに、六月二十八日より十八日間、台湾の教会を訪ねる事ができ感謝でした。特に各教会の牧師先生方には、お忙しい中、突然の訪問にも拘わらず、いろいろと面倒を見て下さり感謝にたえません。
この度の台湾研修は、私にとつて初めての海外への旅でしたが、台湾の教会を訪ねて一番印象に残